

# 伊豆日日新聞

伊豆日日新聞  
 伊豆の国市三福191-1  
 〒410-2321  
 電話0558(76)4760  
 FAX0558(76)4725  
 伊豆新聞本社  
 〒414-0054  
 伊東市鎌田1290-6  
 電話0557(36)1234

伊豆新聞ニュースサイト  
<http://izu-np.co.jp/>

## 復興支援「継続が大事」

三島で慈善イベント 被災地の特産販売盛況



大きな身と香ばしい味わいで大人気だった焼きたてカキとホタテの販売コーナー。三島市東町のリバーサイドガーデン・フォーシーズン

東日本大震災から丸3年を迎えるのを前に、三島市東町のカキ兼園芸店「リバーサイドガーデン・フォーシーズン」(伊丹俊樹オーナー)で9日、復興支援チャリティイベントが開かれた。パザールや被災地の名産品販売コーナー、ライブ演奏などでにぎわった会場では、岩手県山田町の特産品である蒸しガキ800個と焼きホタテ400個をその場で焼いて販売し、立ち上る香ばしい香りに長蛇の列ができた。

被災地支援活動を続けるコケボラ会(伊豆の国市、滝野昇代表)と同店の主催。イベントは今回で4回目で、震災以降毎年開催。震災を風化させることなく継続的に支援する観点から、義援金とパザールなどの収益金は震災遺児のためにこれまで94万3666円を鈴木善幸記念教育基金に寄付し、今回も寄付するという。

会場では人気を集めた蒸しガキ、焼きホタテ販売のほか「復活・再生のシンボル」とされる卵に食用色素で絵を描く「エッグアート」コーナーも親子連れでにぎわった。被災地から仕入れた水産加工品などをはじめ、新鮮野菜や焼き菓子販売も好評で、しゃりり演奏やインド舞踊披露、ジャグリングなどもあり、盛り

上がった。

滝野代表(57)は「震災を忘れず、つながっていくことが一番大切。被災地から逆に元気や勇気をもらうことが多く、教わることもたくさんある。3年、5年と区切るのではなく、ずっとつながっていかねばいい。チャリティイベントを今後も続けていく」と話した。

岩手・山田町の特産品を販売  
 三島で慈善イベント  
 東日本大震災のチャリティイベントが9日、三島市のレストラ「リバーサイドガーデン・フォーシーズン」



山田町特産のカキやホタテが人気を博したイベント。三島市のリバーサイドガーデン・フォーシーズン

ン」で開かれた。岩手県山田町特産の海産物の販売などに列ができた。

支援に取り組む伊豆の国市の「コケボラ運動事務局」と同店が主催し、4回目の開催。ミネラルたっぷりの蒸

しガキや大粒の焼きホタテの販売などに加え、パザールやライブも開催され、会場は熱気にあふれた。

自身もしゃりり演奏で盛り上げた会社員山田建さん(35)は「三島市東町は「震災は、とても人ごととは思えなかった。少しでも支援の機運を高められたのなら本當にうれしい」と思いを口にした。収益は全額、山田町の鈴木善幸記念教育基金に贈られる。

# 静岡新聞

3月10日  
 月曜日